

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人慈生会 放課後等デイサービスエスポワール		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 1日		令和8年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名 (R7年度実績有)	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 19日		令和8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名(常勤専従)	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学校を卒業後に利用することのできる事業がある	町内に同法人の運営する事業(入所、短期入所、生活介護、就労継続B型)がある。者のサービスではあるが、作業実習など積極的に受け入れを行っている。	SNSでの情報発信など施設の中の様子が、本人及びご家族に伝わる方法を検討していく。
2	活動内容の充実	活動内容は常勤専従の職員が立案し実施している。近隣の社会資源を活動場所として積極的に活用しており、子供たちが十分に身体を使った遊びや活動に取り組めるようにしている。季節や行事に合わせた創作活動や、様々な体験機会を設けている。	SNSや見守りカメラなどを活用し、活動内容の透明化を図り、ご家族からの要望を活動に反映していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご家族間の交流の機会や家族支援プログラムがない	今年度は芋煮会の開催、法人内行事「光星祭」の来場を呼び掛けるに留まった。開催頻度が少なくまた、開催日時が利用日と異なると参加しづらいと感じられているのではないかと推察する。	次年度は、芋煮会の継続開催、コロナ禍以降開催を見送っていた家族遠足の再開、フルール・エスポワール共同行事の開催を検討している。
2	地域の子どもたちと一緒に活動する機会がない	町内の放課後児童クラブの多くは学校の敷地内に併設されており、活動も敷地内であることから日常的な関わりは生じにくい。地域の児童対象とした行事や外出先で来場されている子ども達と一緒に遊ぶ事もあるが、周知に至っていない。	地域の社会資源や行事を積極的に活用していく。また地域に門戸を広げた行事開催に向け情報収集を行っていく。
3			